

平成28年度 社会福祉法人礼文町社会福祉協議会 事業報告

| 1)法人の運営について | | |
|----------------------------------|--|--|
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| 理事会の開催 | 定期的な理事会を開催 | 計6回開催 4/8、5/18、8/30、 10/20、1/19、3/21 |
| 評議員の開催 | 代表議決機関である評議員会を開催 | 計3回開催 5/26、1/27、3/29 |
| 役員研修の開催 | 役員の資質向上を図るため町内外の研修会へ参加 | |
| 会計監査の開催 | 適正な会計処理のため監査を開催 | 四半期監査 年4回 決算監査 年1回 |
| 会員の位置づけと社協への理解 | 社協活動への理解を促進しながら財源の確保に努める | 福祉お供物 年41件 |
| 広報誌の発行 | 社協広報誌を発行し、社協事業への理解や社会福祉の啓発を図る | 広報誌年2回全戸配布 ミニ広報年2回全戸配布 |
| マンパワーの確保 | 福祉人材の確保を行なう | 介護職員初任者研修開催 3月25日(土)開講 5月28日(日)修了 通信教育+授業15日間 |
| 2)地域福祉の推進について | | |
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| 「地区福祉懇談会」の開催 | 「安心して暮らせる地域づくり」を目指すため社協の役割や地域における課題について懇談する | |
| 子育て支援事業 | 新生児の保護者へ記念品(名前パズル)を贈呈する | 贈呈 計11件(男4・女7) |
| 「ふれあいいきいきサロン」事業 | 高齢者等の憩いの場、孤独感の解消、心身の健康維持増進等の事業を開催 ミニサロンの開催支援を行う | 4月～6月、10月～3月香深・船泊地区にて開催 |
| 福祉委員活動の推進 | 地域福祉活動の推進役として設置している福祉委員の活動推進を図る | 任期:2年間 研修会年1回開催 |
| ともに生きる豊かな地域づくり事業 =自治会絆活動助成事業= | ともに生きる豊かな地域づくりを推進する事業を実施する自治会へ助成 | 最大6自治会へ助成 |
| はちまる交流会の開催 | 高齢者の生きがいがづくりと異世代交流を目的に開催 | 開催日:10月30日(日) 参加者787名 |
| 歳末チャリティ芸能発表会の開催 | 町内の団体・関係機関からの代表者による芸能発表会を開催。寄せられた募金は歳末たすけあい募金として活用 | 開催日:12月2日(金) 参加者230名 出演22組 募金額257,043円 |
| 老人クラブの活動支援 | 礼文町老人クラブへの活動支援を行う | ・宗谷管内芸能祭参加 ・2月28日(火)手作り体験事業 参加者19名 |
| 宗谷管内社会福祉大会 | 管内の社会福祉関係者が一同に会し福祉功労者への表彰、福祉の推進を目的に開催(2年に1度開催、平成28年度礼文町) | 開催日:9月13日(火) 参加者131名 |

| 3) ボランティアの推進について | | |
|----------------------|---|--|
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| ボランティアセンターの運営強化 | 効果的なボランティア活動を展開するためボランティアセンターの運営強化を図る | 3月21日(火)香深中学校「シルバー体験学習」を開催。2学年14名参加 |
| ボランティア弁当の実施 | 冬期間における独居高齢者の安否確認や福祉教育の推進を図る | 1月24日(火)関係者会議開催～学校・社協 2月7日(火)香深中学校 2月14日(火)船泊中学校 2月15日(水)礼文高校 |
| 除雪支援の実施 | 除雪が困難な高齢者・障害者を対象に関係機関・自治会・ボランティアが連携する | 1月20日(金) 「除雪支援会議」を開催 自衛隊・消防・役場・社協 |
| ボランティア実践校への助成 | 町内の小・中・高校を対象にボランティア活動の普及を目的に体験や交流等の事業に対し助成 | |
| 4)在宅福祉サービスについて | | |
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| 心配ごと相談所の運営 | 住民の相談に応じ、関係機関との連絡調整を図りながら適切な援助を行う。 | |
| 緊急通報システムの無料貸出 | 身体に不安のある方を対象に安否確認を目的として無料貸出 | |
| 権利擁護への対応 | 精神・知的障害者等が適切なサービスを受けれるよう関係機関との連携を図る | |
| 日常生活自立支援事業の実施 | 認知症高齢者・知的・精神の障害により判断能力が不十分な方を対象に利用契約を結び、自立生活支援専門員が公共料金等の日常的な金銭管理等を行う。 | 利用者数 計3名 のべ利用回数 年60回 |
| 5)福祉サービス事業について | | |
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| 訪問介護事業の実施 | 介護保険要介護認定(要介護1～5)された方に対し訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、生活援助・身体介護サービスを提供 | のべ利用者556名 のべ訪問回数6397回 |
| (障害)居宅介護・重度訪問介護事業の実施 | 障害支援区分に認定された方を対象に訪問介護員を派遣し、生活援助・身体介護サービスを提供 | のべ利用者5名 のべ訪問回数17回 |
| 居宅介護支援事業の実施 | 介護保険の「要介護認定調査」「更新認定」「ケアプラン作成」など居宅介護支援にかかる事業を実施 | のべ利用者766名 |
| 6)共同募金事業について | | |
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| 歳末たすけあい募金「見舞金」の配分 | 見舞金の対象者については申請方式とし、審査委員会にて決定、配分する | 共同募金審査委員会 12月中旬 |
| 各種団体等への配分 | 共募審査会にて慎重な審査・協議を行い効果的な配分を検討する。また広報等で申請希望団体の呼びかけを実施 | 希望団体の周知～8月頃 |

| | | |
|-------------------------|--|------------------------------|
| 募金活動の実施 | 「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」の趣旨徹底を図るとともに募金増強に向けた活動を実施 | |
| 7)貸付事業について | | |
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| 生活福祉資金の貸付総合窓口業務 | 貸付及び償還事務の円滑な推進や長期滞納世帯への指導、関係機関との連携。 | ・完済1件 ・償還中1件 |
| 8)町委託事業について | | |
| 事業名 | 内容 | 備考 |
| 生活援助員派遣事業 (生きがいヘルパー) | 高齢者等が安心して生活できるよう、要介護認定外の方へ訪問介護員を派遣。 | のべ利用者 41 名 のべ利用回数 48 回 |
| 生きがい活動外出支援事業(移送サービス) | 身体に不自由があり、屋外での移動が困難な方に対し移送サービスを実施。 | のべ利用回数 2602 回 |
| 在宅生活見守り事業 (電話サービス) | 在宅で高齢者等が安心して生活できるよう安否確認のための電話サービスを実施。 | のべ利用者 100 名 のべ利用回数 462 回 |
| 冬期在宅生活安心確保事業(除雪サービス) | 冬期間に高齢者が安心して生活できるよう除雪サービスを実施。 | のべ利用者 11 名 のべ利用回数 47 回 |
| 福祉用具利用支援事業 | 介護用品(紙パンツ)や福祉用具(杖)など希望される方への支援を行う。 | のべ利用者 24 名 のべ利用回数 24 回 |
| 外出支援(予防)事業 | 要介護認定要支援1・2の方を対象に通院等の外出を目的とした支援を行う。 | 通年 |
| 移動支援 | 65歳以下の方を対象に透析・リハビリなど通院を目的とした移送を行う。 | 通年 |
| 洗濯支援 | 町内に親類等、身寄りの無い方が入院された場合、衣類の洗濯支援を行う。 | のべ利用回数 13 回 ※平成 28 年度新規事業 |